

龍谷大学 経営学部
データサイエンス・AI 応用基礎プログラム

2025 年度 自己点検・評価報告書

経営学部 データサイエンス教育プログラム運営委員会
2026 年 5 月 14 日

2025 年度「データサイエンス・AI 応用基礎プログラム」自己点検・評価報告書

経営学部 データサイエンス教育プログラム運営委員会

本プログラムの自己点検・評価にあたっては、「データサイエンス・AI 応用基礎プログラム」の必修科目である「経営情報学Ⅱ（2024 年度入学生：経営とコンピュータ利用）」（2 単位）、「経営情報活用論（2024 年度入学生も同一科目）」（2 単位）、「プログラミングⅠ（2024 年度入学生：プログラミングおよび実習 A1）」（2 単位）の 3 科目において、認定教育プログラムに定めるモデルカリキュラムの全ての項目を網羅しており要件を満たしている。そのため、後述する授業アンケートは本科目に基づく分析及び点検を行っている。

1. プログラムの履修・修得状況

本プログラムは、「データサイエンス・AI 入門」を履修していることを前提とし、「経営情報学Ⅱ（2024 年度入学生は経営とコンピュータ利用）」（2 単位）、「経営情報活用論（2024 年度入学生も同一科目）」（2 単位）、「プログラミングⅠ（2024 年度入学生はプログラミングおよび実習 A1）」（2 単位）の 3 科目 6 単位の修得をプログラム修了要件としている。
2025（令和 7）年度の履修者数及び修得者数については、以下の通りである。

<プログラム全体>

種別	2024 年度		2025 年度	
	履修者数	修得者数	履修者数	修得者数
経営学部 データサイエンス・AI 応用基礎プログラム（実人数）	159	0	312	0
経営情報学Ⅱ（2024 年度入学生：経営とコンピュータ利用）	159	123	298	269
経営情報活用論（2024 年度入学生も同一科目）	0	0	14	9
プログラミングⅠ（2024 年度入学生：プログラミングおよび実習 A1）	0	0	0	0

※本プログラムは 2024 年度以降入学生を対象としたプログラムであるため、5 セメ（3 年次第 1 学期（前期））開講の「プログラミングⅠ（2024 年度入学生：プログラミングおよび実習 A1）」については、2025 年度の履修者も 2024 年度に引き続き 0 名となる。

2. 学修成果について

経営学部 データサイエンス・AI 応用基礎プログラム対象科目を受講している 529 名（プログラム対象外学生も含む）に対して、授業アンケートを実施したところ、設問「この授業のシラバスに示されている「到達目標（目的・ねらい）」を、どの程度達成できたと思いますか」では、「90～100%達成」が 4.7%、「80～89%達成」が 33.6%、「70～79%達成」が 45.7%と 8 割以上の受講生より「70%以上達成できた」と回答を得た。

また、設問「授業は積極的に受講しましたか。」では、「積極的」が 31.0%、「どちらかといえば積極的」が 44.8%と 7 割強の受講生が「積極的に受講した」と回答した。

さらに、設問「授業内容は、全体的にみて今後役立ちそうだと思いますか」では、「非常に思う」が 39.2%、「やや思う」が 49.6%と 9 割弱の受講生が「今後役立ちそうだと思う」と回答した。

これらのことにより、プログラムの学修成果の一つである「データサイエンスや AI に関する基礎的知識の修得にとどまらず、様々な分野で活用できるようになる。」については一定の水準において達成していると評価できる。

3. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

経営学部 データサイエンス・AI 応用基礎プログラム対象科目を受講している 529 名（プログラム対象外学生も含む）に対して、授業アンケートを実施したところ、設問「授業の内容について、あなた自身理解できていると思いますか」では、「非常に思う」が 5.3%、「やや思う」が 51.6%と 6 割弱の受講生から「理解できた」と回答を得た。

また、設問「授業の難易度はどうでしたか」では、「難しかった」が 18.3%、「少し難しかった」が 51.0%と 7 割弱の受講生が「難しかった」と回答した。難易度が高かったことから、理解度も低くなっていると思われる。

今後も継続してアンケート調査を行い、学生の理解度の把握に努める。

4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

経営学部 データサイエンス・AI 応用基礎プログラム 対象科目を受講している 529 名（プログラム対象外学生も含む）に対して、授業アンケートを実施した。直接「推奨度」を問う質問は準備していなかったが、設問「あなたはこの授業に良く出席し、興味を持って受けていたと思いますか。」では、「非常に思う」が 18.9%、「やや思う」が 51.3%と 7 割以上の受講生から「良く出席し、興味を持って受講できた」との回答を得た。

また、設問「授業内容は、全体的にみて今後役立ちそうだと思いますか」で 9 割弱の受講生が「今後役立ちそうだと思う」と回答したことから、他の学生への推奨度も高いと推測される。

5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

2025（令和 7）年度は、2024 年（令和 6）年度に引き続き専用の WEB ページを作成したほか、履修要項へのプログラム概要の掲載、プログラム対象科目受講者に対するプログラムの周知、新入生向けオリエンテーションにおける同プログラムの紹介チラシの配布など、履修者数、履修率の向上にむけた取り組みを展開している。

6. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

本プログラムは 2024 年度以降入学生を対象として開始したことから、プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価を得るまでには至っていないが、今後、キャリアセンターが実施している卒業時進路データ、卒業後 1 年目および卒業後 3 年目を対象とした卒業生アンケートをもとにプログラム修了生の進路先や活躍状況を把握する予定である。

7. 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

民間企業等でデータ分析や解析等に関わってきた経験を有する本プログラム科目担当教員を含めて、教育プログラムの内容や講義の進め方について意見収集をしていく。また、実データ提供企業等からも意見を取り入れ、今後のプログラム内容の見直しの参考にする。

なお、「経営情報活用論」においては、2024年度に締結した3件の覚書に加え、今後も外部企業との覚書締結を進め、提供された実データを用いた分析を継続して実施する。

8. 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

経営学部 データサイエンス・AI応用基礎プログラム対象科目を受講している529名(プログラム対象外学生も含む)に対して、設問「授業を通じて「学ぶたのしさ」や「学ぶことの意義」を感じましたか」では、「強く感じた」が10.6%、「感じた」が52.8%と6割以上の受講生から「授業を通じて「学ぶたのしさ」や「学ぶことの意義」を感じた」との回答を得た。

そのため、本プログラムの受講を通して、「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらうことができたといえる。

9. 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

授業アンケートに加え、定期的な小テストなどによって理解度確認を実施しており、その結果を分析することにより、講義内容の見直しを行っている。また、授業サポート体制として、LMS「manaba course」を通じて学生からの質問受付を行い、分かりやすい授業とする工夫を行っている。

添付資料：

- ・プログラムの履修・修得状況（詳細）
- ・授業アンケート集計表

以 上

プログラム科目 一覧 (3 科目)

種別	2024 年度		2025 年度	
	履修者数	修得者数	履修者数	修得者数
経営学部 データサイエンス・AI 応用基礎プログラム (実人数)	159	0	312	0
経営情報学Ⅱ (2024 年度入学生：経営とコンピュータ利用)	159	123	298	269
経営情報活用論 (2024 年度入学生も同一科目)	0	0	14	9
プログラミングⅠ (2024 年度入学生：プログラミングおよび実習 A1)	0	0	0	0

プログラムの履修・修得状況 (詳細)

【経営情報学Ⅱ (2024 年度入学生：経営とコンピュータ利用)】

開講年度	履修者数	合格	不合格	合格率
2024	159	123	36	77.4%
2025	298	269	29	90.3%

【経営情報活用論 (2024 年度入学生も同一科目)】

開講年度	履修者数	合格	不合格	合格率
2025	14	9	5	64.3%

※本プログラムは 2024 年度以降入学生を対象としたプログラムであるため、4 セメ (2 年次第 2 学期 (後期)) 開講の「経営情報活用論」については、2024 年度の履修者は 0 名。

2025 年度「データサイエンス・AI 応用基礎プログラム」

(対象科目：経営情報学Ⅱ (2024 年度入学生：経営とコンピュータ利用) / 経営情報活用論) アンケート集計表

実施日：2026 年 1 月中旬

受講者数：529 名 (うち 312 名が経営学部 データサイエンス・AI 応用基礎プログラム対象生)

アンケート回答者数：339 名 (回収率 64.1%)

Q1 1 回の授業に対して、平均してどのくらい授業外学習 (自主学習・課題学習・予習・復習など) を行いましたか。		
4 時間以上	2	0.6%
3 時間以上 4 時間未満	5	1.5%
2 時間以上 3 時間未満	20	5.9%
1 時間以上 2 時間未満	33	9.7%
30 分以上 1 時間未満	110	32.4%
30 分未満	115	33.9%
授業外学習をしていない	54	15.9%
合計	339	100.0%

Q2 到達目標をどの程度達成できたか？		
S (90～100%達成)	16	4.7%
A (80～89%達成)	114	33.6%
B (70～79%達成)	155	45.7%
C (60～69%達成)	40	11.8%
D (0～59%達成)	14	4.1%
合計	339	100.0%

Q3 この授業はシラバスにそって計画的にすすめられていましたか。		
強くそう思う	79	23.3%
そう思う	213	62.8%
どちらでもない	33	9.7%
そう思わない	10	2.9%
全くそう思わない	2	0.6%
回答できない	2	0.6%
合計	339	100.0%

Q4 積極的に受講したか？		
積極的であった	105	31.0%
どちらかといえば積極的	152	44.8%
どちらともいえない	64	18.9%
どちらかといえば消極的	15	4.4%
消極的であった	3	0.9%
合計	339	100.0%

Q5 難易度は？		
難しかった	62	18.3%
少し難しかった	173	51.0%
ちょうどよかった	94	27.7%
少し簡単だった	8	2.4%
簡単だった	2	0.6%
合計	339	100.0%

Q6 理解できたか？		
非常に思う	18	5.3%
やや思う	175	51.6%
どちらともいえない	99	29.2%
あまり思わない	42	12.4%
まったく思わない	5	1.5%
合計	339	100.0%

Q7 興味を持って受講できたか？		
非常に思う	64	18.9%
やや思う	174	51.3%
どちらともいえない	69	20.4%
あまり思わない	29	8.6%
まったく思わない	3	0.9%
合計	339	100.0%

Q8 質問 7 の選択理由を教えてください。(複数選択可)		
授業内容が新鮮だった	94	20.4%
質問に対する教員の対応が適切だった	42	9.1%
自分の学力に合っていた	32	7.0%
将来に役立つと思えた	187	40.7%
授業内容に新鮮味がなかった	28	6.1%
自分の学力よりレベルが低すぎた	4	0.9%
自分の学力よりレベルが高すぎた	37	8%
将来に役立つと思えなかった	6	1.3%
その他	30	6.5%
合計	460	100.0%

Q9 「学ぶことのたのしさ・意義」を感じたか？		
強く感じた	36	10.6%
感じた	179	52.8%
どちらともいえない	93	27.4%
感じなかった	27	8.0%
まったく感じなかった	4	1.2%
合計	339	100.0%

Q10 今後役立ちそうか？		
非常に思う	133	39.2%
やや思う	168	49.6%
どちらともいえない	31	9.1%
あまり思わない	6	1.8%
まったく思わない	1	0.3%
合計	339	100.0%

Q11 この授業に対する取り組みを振り返り、記入してください。（自由記述）※抜粋

私は将来、商品の売れ筋や次の開発のための戦略などをデータから見て考えていくような仕事をしたいと考えています。そのためにデータ分析の知識が必要だったのでこの講義を受講しました。最初は何をやっているのかよく理解できなかったのですが、何回かやっていくうちに完全とまでは理解できていませんが、おおまかに何をしているのかわかるようになりました。この能力をもっと高められるように、今後もデータに関する授業に取り組んでいこうと思います。
少ししか知識がないところから始めてついていくのは簡単ではなかったですが、Excelの便利さや難しさをあらためて実感し、やりがいのある授業になりました。
授業内容はついていくのが大変だったというより、ほぼついていけてはいなかったが、復習や授業後のレポートを通してある程度は理解できたと思う。また、将来に役立つ学習だと感じる。
毎回の演習が大変ではあったけど、とてもやりがいがあって終盤にかけて楽しくなっていた。
難しい内容が多くあったが、manabaに授業動画を載せていただいたので復習をしっかりとすることができ、より理解を深めることができた。
社会人になってもエクセルは活用していくものだとして認識していたので、講義も聞き、課題にも真剣に取り組んだ。
課題や小テストなど内容が難しいと感じることも多々あったが、一生懸命取り組むことができ、好成績を残せたと思う。グループワークについてもグループのみんなが協力していいものができたと思う。
課題は難しかったが、その分生活でも仕事でも役に立つものばかりで、今現在とても参考になっている。また、桃鉄を活用したグループワークは斬新で面白かった。
あまり使い慣れていないエクセルを扱うことは自分にとって非常にプラスになり、今後社会に出た際に使える技術がついたのでとてもいい講義となりました。
自分には課題すらも難しく、提出に至らないことがあった。が、課題に対する姿勢はめげない点でよかったと感じる。
毎回、講義動画を何度も見直し、課題に取り組んで、なんとかついていった。
パソコン作業の中で、実務で活用できる有意義な内容がぎっしり詰め込まれている講義だったと思います。正直に言って、これ以上実用的な講義は聞いたことがありません。ただ、この講義を100%理解し、授業のスピードに追いつける学生がいたら、その学生はそもそもこの講義を受講する必要のないほどの能力を持っている人だと思います。要するに、内容はとっても素晴らしいですが、それを理解する時間を与えずに進んでしまいますので、追いつくことができません。オンデマンド動画でそれは解決していますが、出席が強制になっているせいで、水準未達の学生たちは意味もなく出席して理解できない講義を聞きながら座っているだけの状態が続いていました。自分の独断と偏見に満ちた意見ですが、自分が後ろの席で見た教室の風景はこういう感じでした。
Excelの使い方など、自分は全然知らなかったのですが、この講義を受けたことによって自分のできることの幅がとても増えたと感じております。パソコンに苦手意識があり、難しい部分も多くありましたが、講義を受けて新しい知識を学べたので受けて良かったと思います。
半年間積極的に取り組み、到達目標を達成できたと思います。短い間でしたが、ありがとうございました。
最初はモチベーション高く授業を受けていたが、授業に慣れてきたあたりからだんだんしっかり受けられなくなっていった。ただ、授業にはしっかり出席できた点は良かったと思いました。
事前に提示された範囲に軽く目を通してから講義に参加できたことで、理解度を高めることができた。
AIやコンピュータなどの技術に対して、詳しい情報を、興味を持って学ぶことができた。
1年前期で学習した内容をより深く学べてよかった。
毎回の授業に出席し、課題も出し忘れることがなかったので良かったと思う。これからの将来につながりそうな内容が多かったため、全体的な流れをしっかりと理解していこうと思った。

授業後に出される課題を用いて復習を行った。その復習により、知識がより定着したと思う。
ほとんど欠席なく授業を受けることができた。また最近よく使う生成 AI との上手な使い方を学ぶことができて嬉しかった。
授業はしっかり聴けていたが、復習まで手が回らなかったと思う。
聞いたことがあるような言葉を深く知ることができたので楽しかったです。予習をしていれば、もっとスムーズな理解につながっていたと思います。書き込みながら自分で考えながらできたので、多少なりとも力にはなったと思っています。
今まで使ってきたものの正しい使い方や、知らなかった知識が理解できました。
何度か体調がすぐれなかったり、1 限ということで生活習慣の乱れにより授業を欠席してしまったりし、十分に出席ができなかった。この分野は大学生生活、社会生活において、これから重要な分野になると思うので、もっと積極的に参加すればよかったと、とても後悔している。
アンケートの取り方など、これから使えそうなのが学べてよかったと思いました。また、使ってみたいと思いました。
一つ一つがつながっていることがわかった。AI が主流となる現代にとってとても大切なことだと感じた。
現代社会において必要な知識だと思いました。今後の生活に役立てていきたいと思っています。
二進数のところが難しかった。
AI と共に生きるためにどうすればいいか理解することができた。
授業が分かりやすく積極的に楽しく学習することができた。
身近な例に例えての説明があったので、とてもわかりやすかった。
これからの時代を捉えた授業で将来に役立つと本気で思えた。生成 AI を何でも使うことの危険さなどを知ることができた。
現代の AI などの問題について学べたので、時代に沿った授業で分かりやすかったなと思いました。自分たちが今後どのようにこの情報化社会を生きていくべきかを知れたと思います。
授業内で紹介された NotebookLM を実際に使うなどして AI に対する抵抗を少なくした。2 進数などの計算問題で躓きやすかったため、自主的に演習問題を解いた。
計算問題など複雑な計算を伴うものが多く、毎週の教科書の見返しや、計算式の暗記などが一番大変な点であった。
毎回の授業課題に取り組む際に教科書などを参照したが、そこに書いてある授業課題に関わる文言以外の部分も積極的に読み込み、授業内容と絡めて学習をしていた点がよかったと思っている。
分からない用語について深掘りして自分で調べたりしていました。
課題は難しいものが多かったが、周りと協力して取り組むことができた。
コンピュータへの知識が広がった。コンピュータはうまく使えば便利なものだが、難しい一面も多くあることを知った。
難しいと感じていたのに、全然復習をしていなかったのが後悔しています。テストまで頑張ります。
コンピュータや迷惑メールなど、身近にあるような学びが多くあったため、学んでいて理解しやすい反面、言語化すると難しいなと思いました。
内容が自分には少し難しかったけれど、授業内課題をやる事によって少しずつ復習をすることができた。
情報は興味のある分野だったので学ぶこと自体が楽しく、今後さらに深く調べてみたいと感じた。
体調を崩す機会が多く休むことが数回あったものの、説明がわかりやすい授業だったので、授業についていきやすかった。また、毎回の課題も授業の振り返りや自分の押さえられていないところを把握できる機会になったので、自習しやすかった。
この授業では AI に対する理解が深まったと思う。日頃使っている AI にはまだまだ使っていない機能があると思った。
インターネットが大きく普及している現代社会で、仕組みを知ることが現代を生きる者にとって非常に大切なことであり、いい学びを受けることができたと感じる。
一限で起きることができずに休んでしまったことが多々ありました。授業内容はとても興味深くて将来のためになりそうなものだったので、生活習慣を整えてもっと出席したらよかったと後悔しています。

授業計画や予習内容を毎回適切に知らせてくれることと、毎回授業の初めに軽く前回の内容を復習してから進めてくれるのは有難かった。小テストも徐々に難易度は上がったが、そのおかげで回数を重ねるごとに、解き方のプロセスを自分で理解しようとする意識が芽生えた。
単語をそのまま覚えるだけでなく、単語のつながりを理解できるように自分なりに解釈をしてみた。
資料の要約など、龍谷大学のアカウントで Gemini が使えると聞いて、Gemini を使用して効率的に勉強に励めた。
まだまだ理解できていないことは多いですが、知っておいて損はない内容だと思ったので、テスト勉強の中でしっかりと理解したいと思います。
この授業は 2 回目で、だいぶ内容が入った上での 2 回目だったので、だいぶ理解はできました。
授業中は板書やメモを書きながら授業に取り組みました。AI など最近の内容もあり、興味をもって学ぶことができました。
遅刻せず出席し、蛍光マーカーや付箋等を利用して予習復習をすることができた。
コンピュータに関する専門的な語句やネットリテラシーについて多くのことを学ぶことができた。また、毎回の授業後の小テストでさらに学びを深めることができたと思う。
この授業では授業以外で提出物を通じて振り返る時間がありました。そこでもう一度教科書を読み、自分で理解を深めることができるので良かったなと思いました。また、将来役立つような内容を勉強することができたので、知っていると思えるので継続的に興味を持って取り組みたいと思います。少し難しい内容もありましたが、全くわからないわけではないので、難しいところは何度も勉強して理解できるようにやっていければいいなと思っています。
一度も欠席することなく出席することができたので良かった。しかし、小テストでは点を大幅に落とすことが多かったのが反省点であると感じた。
授業には積極的に出席できたが、課題の提出を忘れることがあったり、正答率が低かったりしたのが残念だった。
生成 AI を知った時はレポートの添削など補助ツールとして使えていたのですが、いつの間にか AI 頼りになり、自分で考えることが少なくなっていたなと気づきました。この授業を受け、AI はあくまで補助ツールであることを再認識できました。
予習をあまりしていなかったのもっとしておけばより深く学ぶことができたと思う。
私の今までの生活や今後の生活にも関わることで、想像しやすく話が聞きやすかったのも、積極的に取り組めた。
1 回生の時に学んだことの復習になったことや、新しく学んだことがたくさんあったので、受講して良かったと思った。
パソコン系、情報系はすごく苦手なのですが、分かりやすく授業してくださり、しっかりと授業を聞きメモをとれた。
ほぼ小テストに回答しており、積極的に授業に参加できた。計算問題系はかなり難しく感じた。
自分の知っている言葉がよく出てきたが、その意味については理解していなかったのも、いい学びになったと感じる。
授業内容は難しかったけど、スライドを用いた説明がわかりやすく、講義を受けていて興味深かったです。今期に学んだことを忘れずに将来に役立てていきたいと感じました。
先生が具体例を出してくれるので言葉の意味を想像しやすく、わかりやすかった。自分でそこをメモすることで、復習した時に思い出せた。
付箋に授業内容をまとめ、毎授業ごとの小テストでその日の授業内容を振り返ることができた。
AI やデジタル技術を使いこなす、正しい使い方をしっかり理解しておくことは、これから社会に出る上で必要不可欠だと思う。計算問題など難しい内容が多かったが、小テストなどで理解を深めることができた。この授業で学んだ知識を課題やテストにとどまらず、自分に役立てられるようにもっと理解を深めたいと思った。
自分の苦手分野だったので、より積極的に参加しました。少しでも克服できたようで嬉しく思います。
大学生になってから AI などをもっと使うようになったため、この授業で学んだことを活かしたいと思う。
現代を生きていく自分たちにとって必要な知識を身につけることができた。AI などの身近になってきた存在から発展して、今まで使ってきたが詳しく考えることが少なかったことまで幅広く学ぶことができた。

最初の方は課題をしっかり出せていたが、後半になるにつれて課題を出すのを忘れてしまうことが多かった。気が緩んでいた気がしたので、もう少し復習や振り返りの時間をその日に作れば忘れることも少なかったかもしれないと考えた。もう少し気を引き締めて学習するべきだったと考えた。
今後さらにデジタル化が進むと思うので、データなどについて知ることで将来役立つと考え、積極的に取り組めた。
授業ごとに提示されるページをある程度読み込み、データの分析など、実践的な学習に役立てられたと思う。
この授業で一番印象に残ったのは生成 AI についてです。自分は分からないこととかがあると ChatGPT に聞くことがよくあります。しかし、この授業を受けるまでは ChatGPT が言っていることを鵜呑みにしていることがよくありました。だから、この授業を受け、AI はただの確率であって、意味を自分の中でしっかり解釈することが大切だということを理解しました。そのため、この先生成 AI を使用する時はそのまま理解するのではなく、それはどういうことで本当に合っているのかを自分の頭で考えて使用しようと思いました。
生成 AI について習ったことで、今期履修している授業の理解度を深めるために、授業で習った NotebookLM の利点である「ハルシネーションへの対策」という点に着目して活用してみた。別授業の復習ではあったが、生成 AI に対する理解も深まったと感じた。
2 進数、10 進数など高校で学習したものに加えて、さらに深いところまで学んだため、興味を持って授業に取り組めた。
毎回授業に出席し講義を集中して受けた。実生活で役立つもの、気をつけるべきことがあってよく学べたと思う。
難しい内容だったが、きちんと予習と復習のテストを受けて理解できるように努めることができた。
計算以外も単なる一問一答ではないので、しっかりと理解して試験に臨みたい。
生成 AI の適切な使い方などを学ぶことができ、実際に授業などに活用できました。
自分の現在の生活と密接に絡み合っている AI などを扱う講義のため、使うたびにこの授業の内容を少し振り返りできた。
これからますます Society 5.0 が進む世界で、ある程度の知識を理解するだけでも社会を生きていくのに有利になるため、この授業で深く理解することができてよかった。コンピュータが当たり前になっている世の中だが、そのコンピュータがどのように私たちの指示を理解しているのか知ることができた。この知識を自分の創造価値に活かしていければと考えた。
出席のシステムに少し困惑したが、授業の時間も比較的短く、集中して受講することができた。
AI についてなどこれからの時代に役立つ内容が多く、とても良い時間となりました。
現在基本情報技術者の資格の勉強をしているので、そこと重なる部分が多かった。特にプログラミングやアルゴリズムの分野あたりは特に勉強した。
AI についてなど、近年重要になってきている分野を詳しく学習できたので身になったと思う。
授業で取り扱っている内容は学んだことがあり、自分の知識の間違いがないかを確認しながら進めることができた。
プリントと教科書の内容を照らし合わせ、「この部分か！」と納得できるように心がけました。
高校の情報の授業で習った部分もあったが、それ以上に内容が難しかったと思う。
未来に関するものを学ぶことができ、ChatGPT、映像などについて学ぶことができました。
課題を何回か答えられていなくて少し悔いがありました。けど、全体的に自分にとっては有益でとても興味深い講義でした。AI の分別や情報収集の方法等が特に印象的でした。
これから役立つであろう AI について、良い面もあれば悪い面もあり、その付き合い方が大事だということを学ぶことができたと思います。専門的なことも多かったですが、新しいことがたくさん知れたので新鮮でした。
教科書をものすごく読み込みました。それはテストが教科書以外持ち込みできないというのがありますが、講義が教科書を読んでいること前提で行われていたからです。予習は私にとって苦ではなかったもので、全体的に深く学ぶことができた。
この授業ではデータサイエンスについて学びました。データサイエンスは将来に役立つ知識を身につけることができる場所だと感じていました。将来のために授業に積極的に参加して、知識を身につけることができたと感じています。
少し専門的な内容もあったけれど、毎回講義に出席しているうちに知識がついたのでよかった。

「どうだと思いますか？」と聞かれた時に、自分の考えより先に携帯で調べてしまう癖がついていたことに気が付きました。少しでも自分で考えてから、わからなかったら調べるように変えないと思える能力が衰えてしまうと思い、意識しました。
自分の日常生活で役立つと感ずることがあまりなく、授業を淡々と受けるだけになってしまったように思う。
身近なことに関連した話のため、興味を持って受けることができた。授業のレジュメ等があればより理解が深まったと思う。
一回で学ぶ量が多いため、復習する時間が他の科目より必要だった。将来役立ちそうなことが多く学べたので良かった。
授業中に学んだことは、今まで学んだことのないような内容ばかりで、正直難しく感じるが多かった。しかし毎回の小テストでしっかりと復習することもできて、さらにテスト勉強を通じて少しずつ理解していくことができたように感じる。
講義に積極的に参加し、コンピューターネットワークに関する知識をつけることができた。
重要視されるようになってきた「情報」について詳しく学ぶことができた。少し苦手意識があったが、意外と面白かった。
授業に対して出席はしていたが、真面目に受けていたとは言えず、授業での知識を学習できていなかった。
機械装置などについて知識がなく苦手な科目だったので難しかったのですが、その分頑張って学ぼうとしました。
AIの仕組みや活用例だけでなく、ハルシネーションや著作権、フェイクニュースなどの課題についても理解を深めることができ、今後はAIを正しく判断し、目的に応じて活用していきたいです。なぜなら、ChatGPTに頼りすぎると自分で考える力が落ちると考えるからです。
この講義で勉強していたおかげで、IT資格の勉強が捗りました。
体調面による授業の出席数でいえば少なかったですが、先生の話し方や関心の向きがとても面白く、いくつになっても好奇心を持って社会と接することと、モラルやリテラシーを学ぶ必要があると思いました。
最新技術を経営に用いる方法とリスクについて知ることができた。
この授業を通して、情報を正しく理解し、活用する力の重要性を改めて認識した。これまで日常的に情報を受け取ることは多かったが、その信頼性や目的を意識して扱う機会は少なかったと感じている。授業では、情報の整理や分析、適切な発信の方法について学ぶことができ、自分の考えを論理的にまとめる力が向上したと感じた。今後は、授業で学んだ内容を他の科目や日常生活にも活かし、情報を主体的かつ責任をもって扱っていきたい。
普段目にするものでも、仕組みを知らなかったりしたものが、この授業を通して知ることができた。また、授業を受ける中で、教科書に書かれていること以外の豆知識も知ることができた。
教授の余談が面白く、授業内容とのメリハリがあり、心地よく授業が受けられた印象があった。
毎回の講義で具体的な例を交えながら説明があったため、内容を理解しやすかったと思った。
これからの時代情報リテラシーは絶対に必要な科目であり、学べてよかった。
再履修なので、何が何でも単位を取得することを目標に取り組みました。
前期の教授の授業には起きられずに出席できないことがあったが、今期は体調不良以外全て参加し、課題にも取り組んだ。
授業の内容と教科書の内容を活用して、積極的に宿題をやりました。毎回授業に出席するように頑張りました。
近年、AIが生活の中で当たり前になる中で、この授業を通してAIの仕組みや活用方法を学ぶことができ、とても意義があったと感じました。この授業で学んだことを生活の中にも取り入れていきたいと感じています。
内容はやや難しいと感じたが、日常生活に関連する話題も多かったため、学んでいてとても面白かったです。
「経営と情報」という授業に似ていて、改めて理解する単元が多かった。
グループワークがあればよかった。
講義中に話されている内容が早口で聞き取りにくいので、試験で講義内容を出すのであればもう少し聞き取りやすく話してもらえると助かります。
身近な例を挙げて説明していただくことが多く、日常生活と授業を結びつけた学びができた。
ICTやAIと向き合い続けなければいけない社会で、必要な基礎的なリテラシーを学ぶことができたし、個人的な活動にも反映できた。